

笠井まつり音頭 かさい おんど

さつきよく いしのゆうこ
作曲 石野裕子

さくし おびや はち
作詞 帯屋ひろ八

一、 蝉せみが鳴き出す梅雨な だ つゆ終わり 熱あつい思おもいが蘇よみがえる

しめ縄なわ、草刈くさかり、幟のぼりばた旗 御仮屋おかりや、御神輿おみこし飾かざり付つけ

もうすぐ笠井かさいのおまつりだ

二、 大祭たいさい終わおった宵よいの口くち 祝砲しゆくほう合あい図ずに動うごき出だす

金棒かなぼう、天狗てんぐシヤンシヤンと 殿おごそか渡わたる本ほん通とおり

氏子うじこの安全あんぜん見みて渡わたる

三、 おじい、おばあに教おしえられ 両りょう膝ひざ折おってお迎むかえし

氏神うじがみ見みたら目めがつぶれ 頭こうべを垂たれて手てを合あわす

これが氏神うじがみ迎むかえ型かた

四、倭魂社魂わこんしゃだましい倭やまとの力ちから 華はなやぐ住吉精華團すみよしせい かだん

西にしの魁さきがけさいきだん 西魁團まつりたく 政諾せいたくしやする政諾社

響ひびきわたれ若わかい衆しゅう

五、祀まつり司つかさの笠勢司りっせいし 社やしろを守る神勢團まも しんせいだん

隣となりの町まちから春日社かすがしやも 巖おごそか激はげしさ相俟あいまって

これが笠井かさいのおまつりだ

これが笠井かさいのおまつりだ

※注釈

※精華團、西魁團、神勢團の『だん』はこれが正式

※笠井まつりのまつりは、ひらがなが正式

※こうべの漢字は首ではなくあえて頭を選択した

※迎え型の型は歌舞伎の型と同じ意味で決まった型の意味